

放課後子ども教室（七宝地区）  
スタッフ活動マニュアル

令和元年 9 月

あま市福祉部子育て支援課

## 〔放課後子ども教室（七宝地区）実施要領〕

1. 名称 放課後子ども教室（七宝地区）とする。

2. 活動方針

放課後の児童に安全・安心な居場所を提供し、地域の大人との触れ合い、異学年間の交流を図りながら、工作・ゲーム・スポーツ等体験活動を通じ、児童が地域の中で心豊かに育つことをねらいとする。

3. 参加児童 七宝地区2小学校（伊福・秋竹）の1～6年生

定員 各小学校40名（通年放課後児童クラブ登録者を除く）

4. 参加費 年間2,000円（保険料、教材費）

5. 活動場所 各小学校の体育館等

6. 活動期間 10月～翌年2月（冬休みは除く）

7. 活動日時

月曜日（各小学校10回／年）午後3時～5時 学校が休校の場合は休み

＊具体的な実施期日は、プログラム参照。

8. 運営管理体制・方法

あま市福祉部子育て支援課を事務局とし、地域の児童を育てることを理解した、放課後子ども教室に協力する有償ボランティアが運営する。

（1）スタッフの役割

### ◆コーディネーター

- ・放課後子ども教室運営のコーディネート（提案、指導）
- ・サブコーディネーター、安全管理員への指導
- ・プログラムの検討
- ・会議への出席（必要事項の検討）
- ・研修の検討、実施
- ・事務局との連絡調整

・鍵の借用返却

・報告書の作成

### ◆サブコーディネーター

- ・プログラムを中心的に実施
- ・安全管理員への指導
- ・プログラムの検討
- ・会議への出席（必要事項の検討）
- ・研修への出席
- ・鍵の借用返却
- ・報告書の作成

### ◆安全管理員

- ・当日の用具運搬

- ・プログラムの実施
- ・会議への出席（各学区1名又は2名、毎回違う者でも可）
- ・研修への出席

## （2）事務局の役割

- ・コーディネーター始めスタッフとの連絡調整
- ・団体、講師との連絡調整
- ・学校、学校教育課との連絡調整
- ・用具の購入
- ・スタッフ募集、受付
- ・参加者募集、受付
- ・会議の開催（必要事項の検討）
- ・研修の検討、実施

## （3）教材、器具類

教材、器具類は検討し、必要に応じて購入する。

## （4）定例会議

- ・定例会…コーディネーター、サブコーディネーター、安全管理員（各学区1名又は2名）の出席者と事務局により月1回程度行う。
- ・スタッフ全体会議…スタッフ全員と事務局により年3回程度行う。

## （5）スタッフ活動時間

原則午後2時30分（下校時間が変更となった場合はその時間の30分前）から午後5時15分まで。

## 9. スタッフの保険について

スタッフ登録情報に基づき、あま市でスポーツ安全保険に加入する（放課後子ども教室の活動にしか適用されない）。

## 〔実施にあたっての取決事項・留意点〕

### 1. 活動開始前

- （1）午後2時30分までに職員室付近の玄関口に集合し、職員室で先生に挨拶後、鍵と管理箱を受け取り体育館等へ行く。
- （2）救急箱、当日の活動に必要な教材、器具・用具類を用意する。
- （3）コーディネーターを中心として当日の実施内容確認、役割分担等打合せを行う。
- （4）講師によるプログラムの場合は、実施場所までの案内や打合せを行い、当日の流れを確認する。
- （5）スタッフは名札を着用する。
- （6）スタッフは、午後2時50分になったら児童の一斉下校の場所へ参加者名

簿を持って出向き、待機する。

一斉下校の挨拶終了後、体育館等へ誘導する。

- (7) 体育館等入口で参加する児童の確認を行う。
  - ・出席簿を記入する。
  - ・登録証を受け取ったら裏面のお迎え欄を確認する。明らかにお迎えに来た方が違う場合や、何も書かれていない場合は児童の緊急連絡先へ確認を取る。
- (8) カバン等の持ち物の保管場所を決め、その場所に置くよう指示する。  
履物は学校で指定された場所に入れる。
- (9) 児童が教室等に忘れ物をした場合、スタッフが同行して先生の許可を得た後、取りに行く。

## 2. 活動時

- (1) 児童とスタッフは向い合って整列し、開始の挨拶を行う  
挨拶後、スタッフは自己紹介（名前のみ）を行う。
- (2) 外部講師の協力がある場合
  - ・外部講師の自己紹介
  - ・活動・・・進行はどちらが行うのか、休憩のタイミングや声掛けについて、あらかじめ役割を確認し、どこまで講師に任せるのかを必ず把握しておく。  
講師の活動が終了した時点で、お礼の挨拶を行う。挨拶後は、スタッフの指揮下とする。
- (3) スタッフの呼び名は、「××（苗字）さん」とする。
- (4) 体育館の舞台、器具倉庫等は児童が立ち入らないようにする。
- (5) 遊びやゲームをする場合、自主性を重んじることは大切であるが、団体活動の中でのルールを守ること、年少者へのいたわり・思いやりの気持ち等も教える。他の児童に迷惑をかけたか、安全管理上問題と判断される場合は速やかに注意する。様々な特徴をもった児童がいるので、対応や言動には配慮する。
- (6) 児童の様子を見ながら、適度に休憩を取り水分を補給する。
- (7) 終了10～15分前になったら活動を終え、児童に遊具・機材等の片付けおよび体育館等床の掃除（モップ掛けなど）をさせる。
- (8) 児童とスタッフは向い合って整列し、終了の挨拶を行う。
- (9) 忘れ物が無いことを確認する。
- (10) 帰宅する子どもには
  - ・登録証を返却する。

- ・迎えに来た保護者へ児童を引き渡す。児童が勝手に外へ飛び出さないよう注意する。

### 3. 活動終了後

- (1) コーディネーター又はサブコーディネーターは「報告書」を記入する。
- (2) 忘れ物、照明、トイレの状況、戸締りを確認する。学校の備品に異常がないか確認する。ボール等が破損したら速やかに事務局へ連絡する。
- (3) 救急箱、当日の活動に使用した教材、器具・用具類を片付ける。
- (4) 職員室へ終了の挨拶をして、鍵と管理箱を戻す。

### 〔事故への対応等〕

#### (1) 児童の留意点

- アレルギー体質等子どもに対する特記事項に注意する。
- 注意すべき特記事項は、参加児童の名簿を参照。

#### (2) 万一事故が発生した場合

- ・必要な応急処置を行うとともに保護者に連絡し、その後の対応を相談する。
- ・緊急の場合は救急車を要請し、スタッフが付いて医療機関に連れて行く。保護者と連絡が取れ次第、経過を説明する。
- ・医療機関にかかった場合は、加入した保険が適用される場合がある。そのため保護者へ怪我の報告をする時は、医療機関に受診した際は子育て支援課へ連絡をするよう伝える。
- ・保護者から怪我の連絡があった場合、受けたスタッフが事務局に連絡する。

#### (3) スタッフの留意点

- ・鼻血や出血した傷口の処置を行うときは必ずビニール手袋等をして処置をする。(他人の血液は直接触らないこと。)
- 血をふいたティッシュ等についてはビニール袋に入れ他の人が触ることのないようする。

#### (4) AEDの場所

- ・職員室及び体育館にあるため、実施場所から近いものを使用する。

### 〔地震発生時の対応等〕

#### 1. 地震発生後

##### (1) 体育館での対応

- ・出口を確保する。
- ・照明器具等の落下物、ガラスの飛散等のない場所に集める。
- しゃがんで手で頭部を保護する体勢を取らせる。「ダンゴ虫のポーズ」というキー

ワードを使う。)

※手は手の甲を上に向ける、もしくはグーで。柔らかい手のひらは大けがにつながるため。

## (2) 教室での対応

- ・ 出口を確保する。
- ・ 机下にもぐれる教室の場合は、机の下にもぐらせしっかり机を押さえさせる。
- ・ 机の下にもぐれない教室の場合は、壁、棚、窓から離れ、落下物、転倒物、ガラスの飛散のない場所に集める。

しゃがんで手で頭部を保護する体勢を取らせる。「ダンゴ虫のポーズ」というキーワードを使う。)

※手は手の甲を上に向ける、もしくはグーで。柔らかい手のひらは大けがにつながるため。

## 2. 避難誘導

- ・ 揺れが収まったら、屋外に避難する。  
※名簿・救急用品等を持っていく。
- ・ 落下物、足元に注意し身近なもの（帽子等）で頭部を保護するように指示する。
- ・ ランドセル等の荷物は置いていく。（荷物を持っていく暇はないため。）
- ・ 最後に出るスタッフは教室内に子どもが残っていないか確認し、子どもを屋外へ誘導する。

## 3. 屋外へ避難後の対応

- ・ 児童を整列させて点呼をとる。
- ・ 負傷者の確認と手当をする。
- ・ 保護者に連絡をして児童を引き渡す。保護者と連絡が取れない場合は、避難場所で保護する。

## 4. 津波警報が発令された場合

- ・ 校舎3階に避難する。
- ・ 避難後児童を整列させ点呼をとる。
- ・ 負傷者の確認と手当をする。
- ・ 津波警報が解除されるまで待機する。
- ・ 津波警報が解除されるまでは保護者への引き渡しはしない。

## 〔添付資料〕

- ・活動スケジュール（別紙1）
- ・警報発令時等の対応について（別紙2）
- ・学校別避難経路（別紙3）
- ・嘔吐処理について（別紙4）

※スタッフの連絡先など、その他必要な書類は管理箱内のファイルを参照すること。

## 活動スケジュール

時間	内容	担当	場所	備考
14:30	スタッフ集合 鍵借用、管理箱、道具の搬入等 ミーティング(内容、役割分担等)	全員 講師	体育館等	<b>鍵借用、管理箱受け取り</b> 職員室で先生に挨拶後、体育館又は教室の鍵を借り、管理箱を受け取る。
14:50	参加児童を迎えに行く 体育館、教室へ誘導	2名以上	グラウンド (下校場所)	<b>道具の準備</b> 救急箱、文房具等、必要なものを運び出す。
15:00	参加児童受付 登録証受取、出欠席確認	全員	体育館等	
15:10	整列・挨拶 活動開始			
16:45	活動終了	全員	体育館等	<b>講師に開始から終了までを任せる場合</b> 休憩等のアナウンスを誰がどのタイミングでするのか、何時を目処に終了するのか事前に打合せしておく。講師紹介・お礼も忘れずに。
16:50	教材、器具・用具類を片付ける 体育館等を清掃する トイレのスリッパを整理整頓 忘れ物をチェック 学校備品の確認 整列・挨拶 登録証を返却			<b>講師にプログラムのみを任せる場合</b> 段取りを開始前、また随時確認。スタッフが進行する。講師の紹介・お礼も忘れずに。 <b>清掃・点検</b> モップ掛けなどで清掃。トイレは汚れていないか、スリッパは揃っているか確認。 学校のボールなど使用した場合は、数や形に異常がないか確認。
16:55	参加児童を保護者に引き渡す			
17:00	道具運搬 実施報告書記入 照明消灯、戸締り・施錠 ミーティング(反省点等)	全員	体育館等	<b>体育館、昇降口の施錠</b> セコムのセットは不要。 <b>鍵、管理箱返却</b> 職員室で先生へ挨拶後、鍵を返却し、管理箱を渡す。
17:15	スタッフ解散			



警報・注意情報等が発令された場合の放課後子ども教室の対応について

【あま市に暴風（雪）警報が発令された場合】

気象庁は、「愛知県」「尾張西部」という区分ではなく、市町村ごとに暴風警報等が発令します。しかし、テレビ等では、「愛知県」「愛知県西部」「尾張西部」という区分で発表される場合がありますので、あま市の状況については、次の方法でご確認ください。

- ① 気象庁のホームページ「防災気象情報」で確認
- ② デジタルテレビのデータで確認
- ③ NHK テレビの東海地方版で確認（解除の情報は流れない場合が有り）

		小学校	放課後子ども教室
登校前	午前6時30分までに解除された場合	平常どおり普通授業	開所
	午前11時までに解除された場合	第5時限より授業開始	開所
	午前11時以降も発令・発表中の場合	この日の学校の授業はなし（自宅学習）	閉所
登校後		授業を中止して、安全を確認して下校。下校が危険と思われるときは、安全な交通ができるまで、学校で待機。	学校の措置に従い児童が下校する場合は、放課後子ども教室も閉所します（警報発令前も含む）。事前に子どもと「どこへ帰るのか」確認しておいてください。警報解除後、授業が再開された場合は、通常通り開所します。
子ども教室参加中			子ども教室を閉所し、保護者へ連絡をしますのでお迎えをお願いします。

裏面へ続く

【東海地震注意情報が発表された場合】

	小学校	放課後子ども教室
登校前	休校	閉所
登校後	授業を中止して、安全な場所に集め保護し、引き取り下校。	閉所
登下校中	すみやかに帰宅するよう指導。 東海地震注意情報と予知情報（警戒宣言）の両方が解除されるまで休校。	閉所
子ども教室参加中		子ども教室を閉所とし、安全な場所に集め保護します。子ども教室からの連絡は通信回線の状況から事実上不可能と考えられますので、ニュース等の情報により判断していただき、お迎えをお願いします。

【集中豪雨・雷雨時等の場合】

	小学校	放課後子ども教室
登校後	授業を中止して下校した場合若しくは下校が危険と判断され、危険がなくなるまで学校に待機した場合。	閉所
子ども教室参加中		子ども教室を閉所し、危険がなくなるまで子どもたちを安全な場所に集め保護します。安全に帰宅できると判断された場合、保護者へ連絡をしますのでお迎えをお願いします。

【インフルエンザ等による学校閉鎖等が実施された場合】

	小学校	放課後子ども教室
登校後	学校閉鎖で休校・下校となった場合。	閉所
	学級閉鎖で下校となった場合。	学級閉鎖となったクラスのお子様は、放課後子ども教室への参加はご遠慮ください。

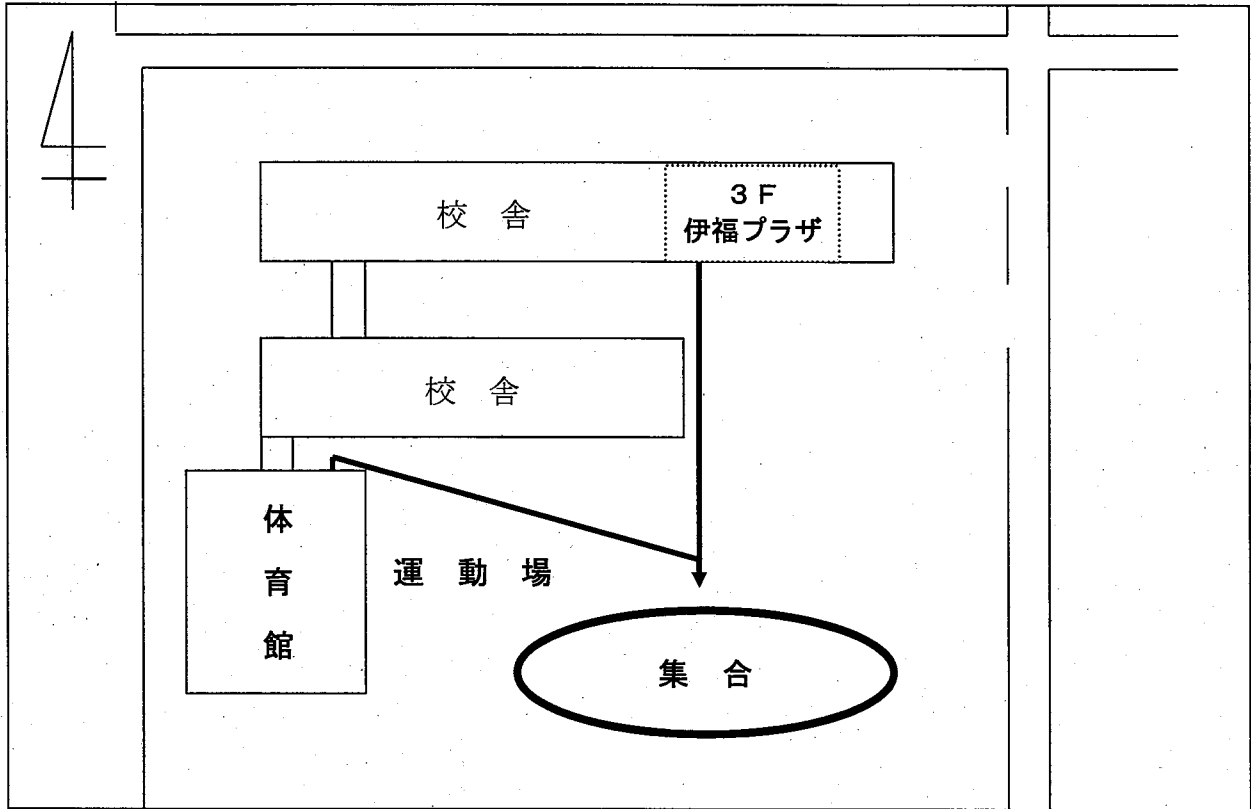
※兄弟姉妹が「インフルエンザ」または「インフルエンザ疑い」と診断された場合

…インフルエンザを発症していないお子様が学校へ登校する場合でも、参加はご遠慮ください。

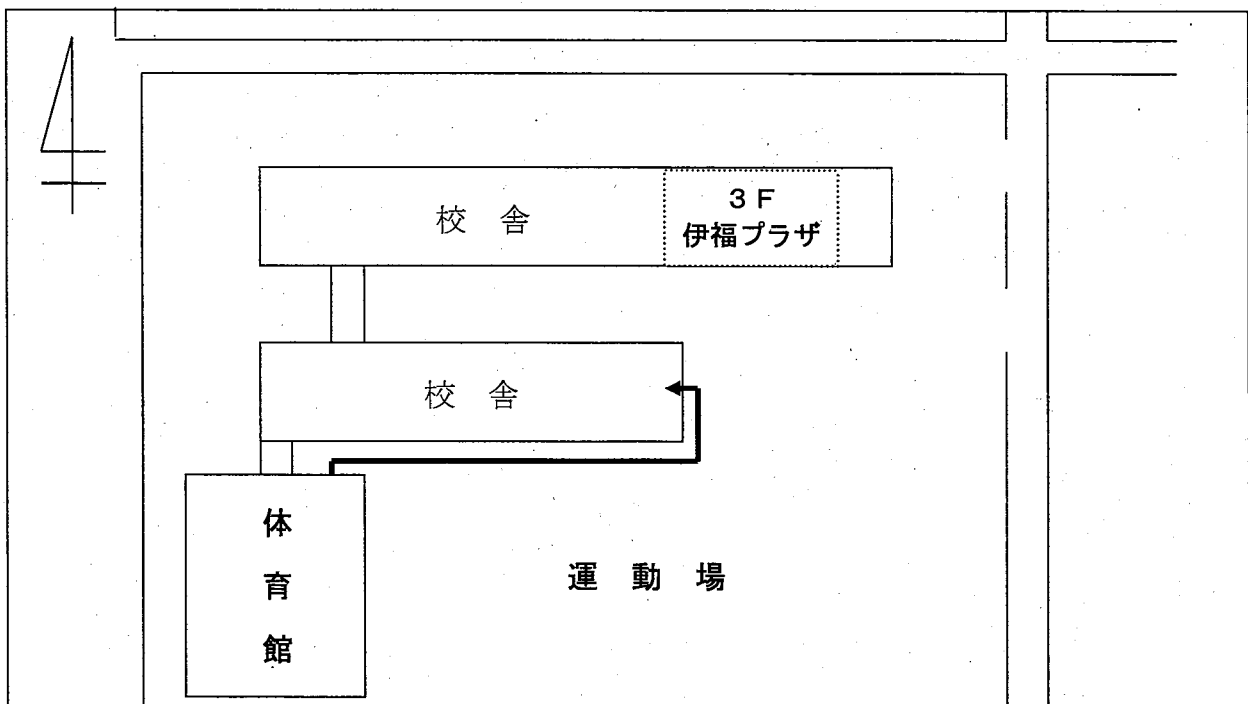
〔学校別避難経路〕

(1) 伊福小学校

- 地震発生後 体育館から運動場へ避難  
伊福プラザから運動場へ避難

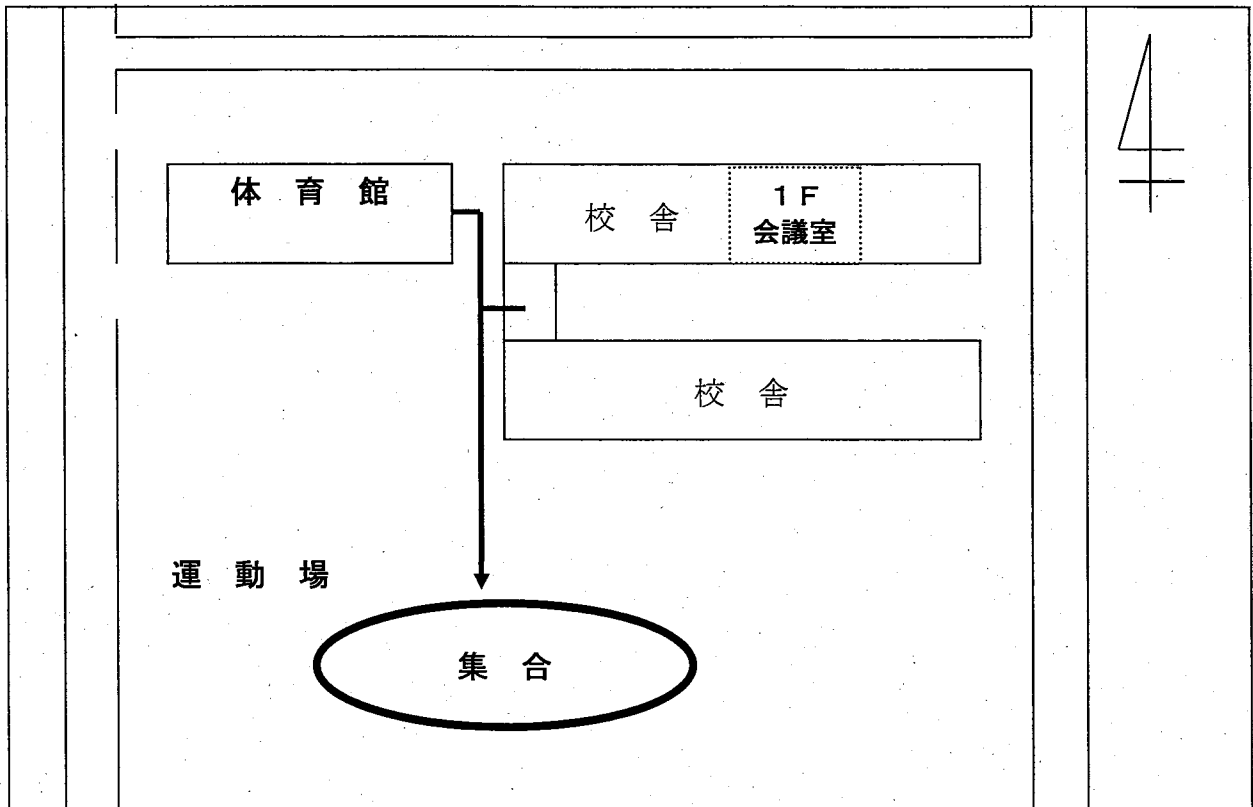


- 津波警報発令後 体育館から南館来客玄関へ行き、北館3階へ避難  
伊福プラザで待機

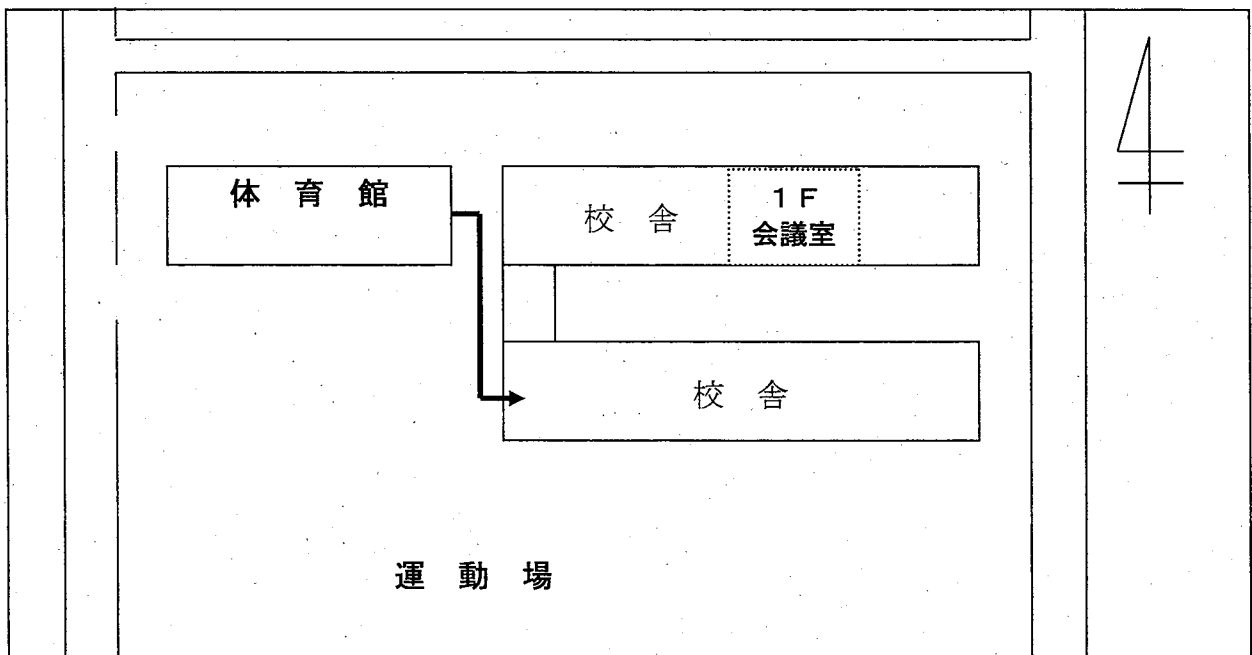


(2) 秋竹小学校

- 地震発生後 体育館から運動場へ避難  
会議室から運動場へ避難



- 津波警報発令後 体育館から南館来客玄関へ行き、北館4階へ避難  
会議室から校舎4階へ避難



[嘔吐の処理の仕方]

1. 児童を嘔吐した場所から離れさせる。
2. 嘔吐物処理品をもってくる。
3. 処理をする人はマスク・ビニール手袋・エプロンを着用する。
4. 新聞紙で吐物を覆い喚起する。
5. 別に新聞紙を敷き、その上に嘔吐した児童の着替えをする。  
汚れた衣類はビニール袋を二重にして密閉して家庭に返す。(洗わないこと)
6. 嘔吐物を新聞紙や使い捨ての布なので外から内側に向けてふき取り、ビニール袋に入れ手袋も入れる。
7. 手袋を変えて嘔吐物が付着した床とその周囲を次亜塩素ナトリウム液0.1パーセントしみこませた布や新聞紙やペーパータオルで覆い、10分程度おく、ふき取った後は水拭きする。  
※次亜塩素ナトリウムは金属を腐食させる。布等は漂白される。
8. 覆っていたもの等をビニール袋に捨て、手袋、エプロンとマスクを外して一緒に入れて密閉する。

※嘔吐処理物は事務局が回収しますので連絡をお願いします。

# 放課後子ども活動(区)実施報告書

## 記入例

記入者   〇〇     〇〇  

		スタッフ活動記録 (15分刻みで記入)			支援団体		
		氏名	時間	備考	団体名		
伊福 小学校		〇〇 〇〇	14:30 ~ 17:30	保護者対応	〇×〇の会  人数 <u>  5  </u> 名		
		△△ △△	14:30 ~ 17:15				
		□□ □□	14:30 ~ 17:15				
令和〇年〇月〇日			: ~ :		団体名 〇×〇  人数 <u>  5  </u> 名		
点検項目		実施前	実施後	特記事項			
施設	体育館	(良)・否	(良)・否				
	トイレ	良 (否)	(良)・否	トイレトペーパーが散乱していた。学校へ報告済み。			
遊具	ドッジボール	(良)・否	良 (否)	一つ割れてしまった。事務局へ要報告。			
		良・否	良・否				
		良・否	良・否				
		良・否	良・否				
		良・否	良・否				
プログラム	段ボールクラフト、ドッジボール						
参加人数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
	7人	8人	5人	2人	2人	1人	25人
怪我・体調不良者の措置	ドッジボールの途中、2年生の△〇君が頭を壁にぶつけてこぶができた。 お迎えまで座らせて休ませ、冷却材で頭を冷やした。お迎えのときに、母親へ経過を説明し、必要があれば医者へ見せてもらうよう伝えた。また、医者にかかった場合は保険が使えるので、子育て支援課へ連絡してもらうよう伝えた。						
忘れ物紛失物	1年生の□〇さんが体操服を忘れて帰宅し、すぐに保護者に連絡し取りに来てもらった。						
その他意見・報告事項	お迎えに体育館内まで入ってこない保護者がいたので、必ず体育館まで来てもらうよう口頭で注意し、理解してもらった。						

実施内容	<p>段ボールクラフト。段ボールを使い、人形や車を一人1つずつ作った。</p> <p>ドッジボール。ボールに慣れることから始め、最後にゲームをした。</p>	
準備するもの	<p>段ボール、はさみ、ペーパーボンド、油性マジック</p>	
展 開	<p>3 : 1 0</p> <p>3 : 3 0</p> <p>3 : 4 0</p> <p>4 : 0 0</p> <p>4 : 4 0</p>	<p>講師に挨拶。</p> <p>講師が完成品を見せながら、クラフトの説明。全員が終わるまで次の工程に進まないよう注意しながら進める。</p> <p>全員の作品が完成。一人ずつ作品を発表してもらった。</p> <p>挙手した子から、講師に感想を言ってもらった。その後、全員で講師にお礼を言い、講師退室。</p> <p>講師に挨拶。</p> <p>ボールで遊び、最後にゲームをした。</p> <p>講師にお礼をいい、講師退室。</p>
	備考	<p>全員が終わるまで、次の工程に進まないよう、講師から指示あり。</p>
気づいたこと	<p>手順を区切って説明して進めることで、低学年も作品を仕上げることができた。</p>	
応用・発展	<p>作品として飾るだけではなく、可動するものであれば作った後も遊べ、プログラムの中で変化をつけることができるのでは。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p><b>必ずボールペンで記入。</b></p> </div>	